別紙様式１記載例①

［別紙様式１］

特殊事由により水産物輸入割当品目を輸入しようとする場合の特殊輸入割当申請前の確認申請書

水産庁漁政部長　殿

申請年月日　平成２１年５月１日
申 請 者 名　○○水産（株）
代表取締役社長　▲▲
住　　所　東京都Ａ区Ｂ町 1-11
電 話 番 号　03-3501-1961

＊記名押印又は署名

上記の貨物を下記により無償で輸入したいので確認されたくお願いします。

記

輸入状況	商品名及び関税率表の番号	イカのフィレ　０３０７
	輸入数量（総数）	８０５０．３ｋｇ
	輸　入　金　額	１１２，０００円
	取引の相手方	○○○○有限公司
	原　　産　　地	日本
	船　積　地　域	中国
	申　請　事　由	所有権の移転しない委託加工契約に基づき日本から輸出した原料を第三国で加工した後、輸入するため
	確認番号（申請回数）	２００９－０００００（５回目）

＊商品名は具体的に記載すること

＊確認番号は、所有権の移転しない委託加工契約に基づく貨物を輸入する場合、当該使用原料の使用原料確認票の確認番号及び申請回数を記載すること

＊以下の部分は水産庁が確認後、記載、押印を行うため、様式のまま手を加えないこと

輸入確認書

上記の特殊事由により無償で輸入される貨物であることを確認する。
輸入数量　　kg
有効期限　　年　　月　　日

水産庁漁政部長　　印

別紙様式１記載例②

［別紙様式１］

特殊事由により水産物輸入割当品目を輸入しようとする場合の特殊輸入割当申請前の確認申請書

水産庁漁政部長　殿

申請年月日　平成２１年５月１日
申 請 者 名　〇〇水産（株）
代表取締役社長　▲▲
住　　所　東京都Ａ区Ｂ町 1-11
電 話 番 号　03-3501-1961

上記の貨物を下記により無償で輸入したいので確認されたくお願いします。

＊委託加工先に至るまでの商流が異なる原料を使用し、同じ商品名・関税率表の番号の貨物を同じ船積みで輸入する場合、複数の使用原料の情報をそれぞれが区別できるよう記載し、申請を行うことができる。

記

輸入状況	商品名及び関税率表の番号	イカのフィレ　０３０７
	輸入数量（総数）	８０５０．３ｋｇ
	輸　入　金　額	１１２，０００円
	取引の相手方	〇〇〇〇有限公司
	原　産　地	①日本　②ペルー　③米国
	船　積　地　域	中国
	申　請　事　由	所有権の移転しない委託加工契約に基づき日本から輸出した原料を第三国で加工した後、輸入するため
	確認番号（申請回数）	①２００９－００００（５回目） ②２００９－０×××（３回目） ③「新規」

＊使用原料が複数ある場合、上記のように数字（①、②、③）などを付けることで、使用原料の原産地と確認番号の対応関係を明示すること

＊以下の部分は水産庁が確認後、記載、押印を行うため、様式のまま手を加えないこと

輸入確認書

上記の特殊事由により無償で輸入される貨物であることを確認する。
輸入数量　　kg
有効期限　　年　　月　　日

水産庁漁政部長　　印

〔別紙様式２〕

別紙様式２記載例

特殊事由により水産物輸入割当品目を輸入しようとする場合の使用原料確認票

水産庁加工流通課長　殿

申請年月日　平成２１年５月１日
申 請 者 名　〇〇水産（株）
　　代表取締役社長　▲▲
住　　所　東京都Ａ区Ｂ町 1-11
電 話 番 号　03-3501-1961

※ 確 認 番 号
※ 確認年月日

＊上記の確認番号、確認年月日は水産庁が確認後に記載を行うため、様式のまま記載を行わないこと

下記の貨物について、製品の原料として使用することについて確認されたく申請します。

記

品　　目	イカ
原　産　地	日本
インボイス番号	○○○－×××
Ｂ／Ｌ番号	ＨＳＺＫ００００００
カートン数	１５００カートン
キ　ロ　数	２４，０００ｋｇ

注）今回の申請を含めたこれまでの確認履歴を裏面に記載すること

上記のとおり確認する。

＊以下の部分は水産庁が確認後、押印を行うため、様式のまま手を加えないこと

水産庁加工流通課長　　（確認印）

〔裏面〕

＊必要事項が加工報告書等で確認できるよう整理しておくこと

原料使用履歴

＊「確認年月日及び水産庁加工流通課押印」の欄は、水産庁が確認後に押印を行うため、記載しないこと

申請回数	申請年月日	原料使用量(kg)	原料在庫量(kg)	輸入確認申請数量(kg)	うち当該原料による製品数量(kg)	確認年月日及び水産庁加工流通課押印※	備　考
1	平成 21 年 5 月 1 日	2,000ｋｇ	21,000　ｋｇ	1,000kg	1,000kg		特殊輸入割当対象外（調製品）に　1, 000kg 使用
2	平成21年5月1日	2,000ｋｇ	19,000　ｋｇ	2,000kg	1,000ｋｇ		
3	平成 21 年 5 月 1 日	2,000ｋｇ	17,000　ｋｇ	1,000ｋｇ	1,000ｋｇ		製品 1,000kg 残り
4							
5							
6							
7							
8							
9							
１０							

＊申請しようとする貨物に使用された原料の使用量を記載すること。調製品等の申請しようとした貨物以外に使用された原料については、備考欄に記載すること。

＊特殊事由による貨物の輸入の対象外のものに原料が使用された場合、原料の用途及び使用数量を記載すること

＊「輸入確認申請数量」の欄には本原料確認票を用いて申請しようとする製品の数量を記載すること。「うち当該原料による製品数量」の欄には、「輸入確認申請数量」に記載した数量のうち、本使用原料確認票により確認された原料の使用数量を記載すること。

＊加工報告書において、加工されたものの、船積みされていない製品が記載されている場合、船積みされていない数量を備考欄に記載すること。